



No.31 【 金属を使った製品、造形物、工芸等の研究 】

【 研究キーワード：工芸、金属工芸、金属造形、鍛金、彫金、鋳金、素材実験 】

芸術学部 デザイン工芸学科

教授 南 昌伸 MINAMI, Masanobu

研究シーズの概要

金属を素材とした製品の開発、リデザインに関わる技術研究。
金属を素材としたモニュメント制作の研究。
金属工芸品の修復、復元等の研究。

研究シーズの詳細

◆ 社会人講座を活用して、企業社員の技術研修とともに新たな金属製品の開発。消えかけていた広島銅蝨の技術研修と試作を重ね新たな製品化に結びつけた。



◆ 明治期の伝統的金属工芸品の修復に協力。明珍派の鉄製自在金具の欠損部分の修復を行う。



◆ 地域の記念祭典のためのモニュメント制作に協力。宗像大社の流れを汲む神社1300年式年祭のためのモニュメント制作。



想定される用途・応用例

- ◆ 新たな製品開発の展開やリデザイン。
- ◆ コーポレートアイデンティティを示すモニュメント。公共モニュメント。
- ◆ 金属工芸等の文化財の修復、復元、レプリカ。

セールスポイント

金属製品のデザインと制作研究を行なっています。
金属素材による新しい造形研究を行なっています。
金属で作られた文化財の類の調査、修復、復元等の研究を行なっています。

問い合わせ先：広島市立大学 社会連携センター

TEL:082-830-1764 FAX:082-830-1555

E-mail:office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

〒731-3194

広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

(情報科学部棟別館1F)